

企画提案書作成要領

企画提案書等の提出物については、本要領に従って作成すること。

I 作成上のルール

(1) 見出し

資料3「提案項目配点表」に掲げる提案項目1～8を各編の見出しとして、提案を求める項目ごとに対応が取れるように提案内容を記載すること。

なお、提案内容については、「2 企画提案書に記載を求める事項」を十分に留意し、記載すること。

(2) 形式

印刷する際にA4判縦、横書き、左閉じを想定した電子データとする。

ただし、図表等については、必要に応じてA4判横でも差し支えない。

(3) 枚数

資料3「提案項目配点表」に掲げる提案項目1～8までの内容を15ページ以内にまとめること（表紙、目次、および様式4、様式5はページ数には含めない）。

(4) 文字サイズ

文字サイズは、11ポイント以上とすること（図表中の文字については除く）。

なお、フォントの指定はない。

(5) 表紙

正本の表紙には、あて名「(あて先) 福岡市経済観光文化局屋台課」、標題「令和8年度屋台プロモーション業務委託提案書」、提出年月日、提案者名(企業名)及び担当窓口(担当部門、担当者、連絡先、電子メールアドレス)を記載すること。

副本の表紙には、標題(正本と同様)と提出年月日のみを記載すること。

(6) 目次

企画提案書表紙の次のページは、目次とすること。

(7) 項目番号

項目番号は、原則として1-(1)-①-ア-(ア)の順で付けること。なお、項目が少ないときは(1)から始めても構わない。不足の場合は適宜設定すること。

また、図表番号等については図と表それぞれの連番とし、図表の題名を付与すること。

(8) ページ番号

企画提案書には、表紙、目次および様式3、様式4を除き、ページ番号を一連で付すること。

2 企画提案書に記載を求める事項

企画提案書には、次に掲げる事項を記載すること。

提案内容については、資料Ⅰ「仕様書（企画提案時）」の内容を十分に踏まえ、本業務の目的達成に資する具体的かつ実現可能なものとする。

(1) 全体業務関連（提案項目Ⅰ）

① 本業務に対する理解・基本方針

本業務の目的及び趣旨に対する提案者の理解を整理したうえで、福岡観光の検討層のニーズに沿った体験が可能な屋台街への適切な誘客や、屋台街間の回遊性の向上、屋台に対する満足度向上に向けた基本方針を記載すること。

② 業務遂行体制及びスケジュール

本業務を円滑に遂行するための実施計画や体制、人員配置及び役割分担（※）、業務全体のスケジュール並びに進行管理方法を記載すること。

※人員配置及び役割分担は、様式4「配置計画」に記載すること。

(2) 三大屋台街の特徴や魅力に係る情報設計（提案項目2）

天神・中洲・長浜の各屋台街の魅力や特徴を分かりやすく、かつ効果的に伝えるための情報設計に向けた方針を記載すること。

あわせて、福岡の屋台全体、三大屋台街に関する提案時点での現状認識や情報発信上の課題等を整理したうえで、屋台に対するイメージの固定化や、特定の屋台街への観光客の集中化を防ぐとともに、屋台体験に関するギャップの解消等につながる工夫を記載すること。

(3) 旅行誌等（紙媒体）へのタイアップ記事掲載（提案項目3）

福岡観光の検討層に対し、効果的にリーチできる旅行誌等（紙媒体）へのタイアップ記事掲載について、次の事項を記載すること。

① 掲載媒体の概要（名称、発行元、想定読者層及び媒体特性など）

② 当該媒体が、全国主要書店での店頭販売が行われる全国流通媒体であることの根拠（流通・配本、取扱書店、販売実績等）

③ 掲載記事の誌面構成イメージ（4ページ相当以上）及び、福岡観光の検討層の興味・関心を高める工夫

(4) タイアップ記事を活用したWeb展開（提案項目4）

旅行誌等（紙媒体）に掲載するタイアップ記事を活用したWeb展開について、次の事項を記載すること。

① Web展開の具体案

② 福岡観光の検討層だけでなく、より幅広い層へのリーチが期待できる導線設計の考え方

(5) 観光客アンケート調査（提案項目5）

観光客アンケート調査について、次の事項を記載すること。

- ① 調査計画（調査方法、調査対象者、サンプル数、設問数、分析方法など）
- ② 今後の屋台プロモーション戦略の立案・改善に向けて、有益な情報を得る工夫

(6) 自由提案（提案項目6）

本業務の目的達成に資する追加施策について、自由に提案することができる。

提案にあたっては、施策の内容、実施方法、期待される効果、実施可能性及び費用対効果を明確に記載すること。

(7) 分析・効果検証・報告（提案項目7）

報告書の作成方針、KPIに基づく分析・効果検証及び改善提案の方法を記載すること。

(8) 技術力・経験・実績・受託意欲等（提案項目8）

本業務全般について、国や他の地方自治体、民間企業等における同種業務に携わった実績がある場合は、その内容について支障のない範囲で記載すること。

なお、実績には実証実験での取組みを含むものとする。

3 企画提案書と同時に提出する書類

様式4「配置計画」、様式5「見積書」を提出すること。

見積書には、業務内容ごとの経費内訳が分かるよう可能な限り具体的に記載すること。その際、自由提案に係る費用については、当該費用が判別できるよう明示すること。

4 その他の留意点

- ① 提案書には、全体にわたって参加者名（企業名）がわかるような記述を一切しないこと。やむを得ず記述した場合は、副本については黒塗し、わからないようにすること。
- ② 契約締結後の実現可能性について、十分考慮したうえで提案すること。
- ③ 専門知識を有しない者にも理解できるよう配慮し、図や表などを適宜使用するなど見やすく明確な提案書を作成すること。
- ④ 提案書等で使用する言語及び通貨は、それぞれ日本語と日本国通貨とする。

以上